

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山口 博

山名	明神平・国見山	山行名	例会		
ルート	大又—駐車場—登山口—明神滝—明神平—国見山—明神平—登山口				
山行日	2月10日	天候	晴		
参加者	リーダー：山口 サブリーダー：佐坂 男性：4名 赤松 小川 女性：4名 大谷 染矢 徳田 山田 合計：8名				
 <p>国見山山頂</p>	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
新田辺	発	6:30	国見山	着	13:25
	発			発	13:35
林道駐車場	着	9:00	明神平	着	14:20
	発	9:25		発	14:25
登山口	着		登山口 駐車場	着	15:50
	発	9:45		発	16:10
明神滝	着	11:00	やはた温泉	着	16:30
	発			発	17:50
明神平	着	12:00	新田辺	着	20:20
	発	12:30		発	

山行報告

15名以下は中止で案内して参加者が8名でしたが、佐坂さんがレンタカーを借りて頂いたお蔭で、中止せずに予定通りの例会が出来ました。

大又を過ぎて林道に入ると道が凍結していて駐車場まで行けず此処で車を降りました。此処からは凍結していて早速アイゼンを着けて歩きました。駐車場には30台位止まって居て道路まではみ出していました。流石にこの時期の明神平は年間で一番人気があります。

登山道も今年は例年に比べて雪が少ない様で、出発から1時間半で明神滝に到着しました。滝の周りは凍結していてこの季節は美しい氷漠が見られました。ここからは登山道にも雪が有り、登るに従って周り一面に樹氷が現れました。予定の時間通り12時に明神平に到着しました。天王寺高校の小屋の横で風を避けて昼食後、12時半から国見山に向け出発しました。此処から先は登山者にも殆ど出会う、僅かな踏み跡を辿って登ります。風も無く汗ばむ位で青い空とキラキラ輝く樹氷が素晴らしく、景色を堪能しながらの楽しい雪山歩きでした。水無山のピークを過ぎると急な下りになり、国見山にはもう一度登り返します。この付近でも50センチ位の積雪ですのでラッセルする事も無く楽に歩きました。此処まで来るのはテント泊の人で日帰りは私達の他に余り居ないようでした。

往復1時間50分で明神平に帰ってきました。此処からの帰りは1時間半で登山口に着き、20分林道を歩いて車へ戻りました。やはた温泉に16:30に到着し、入浴と食事ですっきりして17:50に出発して、新田辺には20:20に帰って来ました。

今年も私の一番好きな明神平の樹氷が見ることが出来て大満足しました。これもレンタカーを運転して頂いた佐坂さん、参加して頂いた会員の皆様のご協力が無事に山行が出来ました。

有り難う御座いました。

関西の樹氷で人気がある、高見山・三峰山・金剛山・和佐又山は過去に山行した。今年1月にさすが大阪の商魂（登山回数の人名掲示板）たくましいと実感した金剛山を久しぶりに登り、今回企画の東吉野村の樹氷が素晴らしい明神平に是非登ってみたいと思った。

早朝の出発今回の参加者は8名、登山口前駐車場の手前で道路がアイスバーン状態でタイヤが空転、S L佐坂さん無理をせずバックして駐車スペースを確保、前年の大又林道の迎車トラブル事故は「かなび」で知っていた。

スタートからアイゼン装着、今回のC L山口さんはこのコースを熟知、大又川を数回渡渉し頂上を目指す、途中ほほえましい光景に明神滝近くで若い夫婦が5歳の双子姉妹を連れての山行に思わず頑張ると声をかける。

元スキー場の明神平の頂上は盛況しかし風が強く寒い、名物のあしび山荘の周囲で風が少しでも防げる場所を探すも寒い、お湯もなかなか沸かないし早々の昼食の後、前年は断念された国見山へ途中の明神岳の眺望、樹氷も素晴らしい、天気は晴天で青空と雪のコントラストがすごく綺麗で本当に最高でした。全員無事に下山。

C Lの山口さん、往復の車の運転をされたS L佐坂さん同行のみなさんありがとうございました。感動の楽しい一日が過ごせました。

